



スーパーGT 開幕戦 2022年4月16-17日 岡山国際サーキット

予選 10th / 決勝 26th



有観客で開幕戦らしい賑わいを見せた初戦の岡山。BOPがきつくなり、今シーズンは厳しい戦いを予想する中予選で10位につけ、決勝での追い上げを狙いました。しかしながら、決勝でマシントラブルが発生し、緊急ピットイン。目標を完走に切り替え、結果26位となりました。

たくさんの応援、ありがとうございました。

入場制限が緩和されサーキットに賑わいが戻ってきました。今シーズンはマシンの性能調整(BOP)がより厳格になり公式テストから厳しい戦いを予想していました。

<予選>

予選は昨年同様、A・Bの2グループで実施。Q1を担当します。コースイン後、早々にアタックしグループ1位で通過、Q2に進出。Q2担当の吉田選手も早々にタイムを出しますが、後半にアタックした他車の伸びが良く、予選結果は10位。

<決勝>

決勝レースはスタートドライバーを担当。ペースはいいものの今期のBOPがきつく直線で離されてしまい抜くのが難しい状況。コース自体も抜きにくい中、タイミングを見て1台をオーバテイク。

これで9位にポジションアップ。ペースアップを図る為、最短の28周でピットインしタイヤ交換と給油を行い吉田選手と交代。自分のステイメントを終えました。その後、ペース良く走行するもシフトが落ちなくなるというマシンのトラブルが発生。緊急ピットインし、何とかトラブルを解消しコースへ復帰。しかしながら勝負権は失ってしまいました。このため完走ポイントを確実に取る作戦に変更。その後はトラブルも出ず、完走ポイントを取ることが出来ました。

追い上げていけなかったことは残念ですが、コースに復帰し完走できたのはチームの力によるものです。次戦のスーパーGTは5/3-4 富士スピードウェイ 450kmのロングレース。引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

